

平成21年（2021年）

あったかく自分にあります。もうすぐ2020年になりますね。私はそれが思われる毎月行います。新年の書き込みに慣れるには少し時間がかかります。まあ、私はちょうど私のエンティティの添付ファイルの状況に関して何が起きているかを最新のものにするつもりです。ここ数日、普通の出来事からあまりにも多くはありませんでした。私はちょうどもちろん、普通の外に考慮されるだろうその多くがあると言ってみましょうが、私が意味することはあまりありませんこの状況のた

私はここで簡単に議論したい一つのことがあります。先日の夜、私はちょうど私の心を通して考えを持っていました。それは普通の外に何もなかった（そこに私は再びそのフレーズで行きます。私はちょうど考えていた"私はもうほとんどクリスタルの声を聞いているのだろうか？"私はちょうど私が最初に2015年の春に始めたときにそれがあったかと比較して、私の状況がどのように異なっているかについて、しばらくの間反映 もちろん、この一つのエネルギーアタッチメントの残りの存在（私が女性の声として聞き、自分自身をクリスタルと呼ぶもの）は、時には私にとって依然として問題の原因となっています。私はちょうど彼女が私が定期的に今聞く唯一の声であるように、少なくとも状況がどのように変化したかを考えて自分自身を見つけました。はい、時折私は水晶ではない別の声を聞くでしょうが、これらの事件はもはやあまり頻繁になってきています。

べきだろうが結晶の本音声通して私の付着状況です。彼女は時々最も侵入的で最も苦しんでいます。なので、すべてではない日差しとる"という良い知らせをいただ一点だけ残念だったのを聞くのが一つの声を一新しま

したが声がでています。しかし、私は私がちょうど私に来ていた声の数に完全に圧倒された感じた最初に戻って回を覚えています。私は"声の猛攻撃"、"声の電撃戦"に見舞われていたように感じました。クリスタルの声を聞くことは確かに時にはそれ自身の程度の悪化を持つことができますが、私はかつて私がしたように圧倒されたとは感じません。

だから、これらの考えはちょうど他の夜私の頭を通過していた。クリスタルは私が考えていたことを拾っていました。ある時点で私は文字通り"私はそれらの他の声のすべてに何が起こったのだろうか？彼らは去って別の場所に行ったのですか？"私はこの考えを持っていた後、私はこれに対する結晶の声の応答を聞きました。"と言った方の声もあり、それは要するできない。"

今、私は水晶が言うことが彼女が常に彼女の物語および声明を変えているので額面で信頼することができないことわかっているより多くである。彼女が私に言っていることは、しばしば矛盾に満ちています。しかし、私は助けることができなかったが、彼女のこの声明にいくつかの関心を取る。"他の声はまだそこにある今は聞こえないだけだ。"

私はこの声明をあからさまに却下しません。それについて考えるだけで、それは可能であり、これは私が最初に戻っていた印象に戻ります。これは私がやっていたことに触れ、私がやっていた活動は、この添付ファイルの状況につながった一連の出来事を動かしました。私は基本的に2015年の冬の間にEVPセッションを行うことに夢中になった方法を参照しています。私は私の録音の声と通信を開始したら、残念ながら、私は本当に自分自身がそれに巻き込ま取得することができました。私はここに私のジャーナルの執筆のこれについて何回も話しました。しかし、私は本当に私が私の聴覚に何かをしたと思うことを繰り返したい、私は非常に多くのレコーディングセッションを行い、私が作ったすべてのレコー

私はどんなにかすかであっても、それらの録音で知覚できるすべての声を試してみて、作るためにできるだけ多くの私の聴覚に磨きをかけるだろう。かすかな声が聞こえるところは非常に一般的でしたが、最初は何を言っているのか分からなかったのも、声が私に何を言っているのか分かるまで、何度も何度も録音を聞きながら、それを繰り返し聞きました。他の回では、私はこれを行う必要はありませんでした、私ははっきりと声が私がそれを聞くときに何を言っていたかを聞いた。しかし、私は確かにそれらの録音に非常に激しく聞いて多くの時間を費やしていたし、私はこれは間違いなく私が危険ゾーンに向かって急いで送った

もちろん、私はこれを確信することはできませんが、私は調整していたように見えました-私の聴覚で、または私は今、"別の次元"またはいくつかの"アストラルプレーンの近く"に聞いていたある時点で十分に私の聴覚を変えました...少なくともある程度。おそらく（その中で）私が今このように聞くことができることが知られていたら、それは私にいくつかの注意を払って、おそらくそれは私が当時と同じくらい多くの声を聞いていた理由の少なくともいくつかです。

私はまた、この同じ状況を経ていたし、多くの場合、ウイルスにこの条件と比較して私を大いに助けた初期の頃に戻って会った誰か。彼は、それはあなたが免疫を持っていないウイルスのようなものなので、それはちょうどあなたに完全な力を打つと本当に逆さまにあなたの世界を回すので、最初は本当に圧倒的だと私に言った。しかし、残業あなたはそれに向かってある程度の免疫を発達させ始めます。私はいつもこれがかなり良い類推だと感じました。

私は自分の状況で、私は最初は状況に完全に盲目に感じ、私がそれらを聞いていたように激しく声を聞いて完全に圧倒されたことを知っています。しかし、残業のショックはある程度消え始めると言えるでしょう。私は完全ではありませんが、私はそれにいくつかの脱感作になり、それに対するいくつかの免疫を発達させたと思います。

だから、おそらくそれは私が最初に戻っていたほど、これらのエンティティの存在に開いていないこれらの日のケースです。おそらく、私は実際には、この精神的なウイルスに対する免疫の少なくともいくつかの尺度を開発しました（ある意味で）。おそらく、それは本当にこれらのエンティティが離れて行っていることではないケースです、おそらく、それは私がかつてあったように、それらを聞くことに今ではほとんど調整されていないケースです....しかし、彼らはまだそこにいる...彼らはずっとそこにいた。しかし、おそらく私が最初に聞いていたそれらの実体の多くは、上に移動し、結晶が物事を引き継ぐようにすることを決めました。多分それは両方の要因の組み合わせです。もちろん確かにはわかりませんが、私が言ったように、少なくとも今回は、Crystalからのこの声明が熟考するものであることがわかりました。

***please forgive translation mistakes**